

ばんしん景況レポート

〒670-0962
姫路市南駅前町110番地
播州信用金庫

中小企業景気動向調査 2025年10月～12月期 NO. 81

照会先 経営企画部
TEL 079-280-3398(直通)
FAX 079-281-4667

【概況】 2025年10月～12月期の業況は7.0、前期比 6.2ポイントプラスと前期を上回りました。
来期は姫路地域では前期を下回り、神戸地域では前期を上回る見通しです。

景気動向調査主要指数D.I（総合）

項目	全地域			姫路地域			神戸地域		
	2025年7月～9月期	2025年10月～12月期	2026年1月～3月期予想	2025年7月～9月期	2025年10月～12月期	2026年1月～3月期予想	2025年7月～9月期	2025年10月～12月期	2026年1月～3月期予想
業況	0.8	7.0	5.2	▲ 2.8	4.4	0.6	5.1	10.2	10.6
売上額	7.7	15.3	6.4	3.7	9.0	1.2	12.4	22.5	12.4
収益	2.0	6.7	1.8	▲ 0.6	1.6	▲ 2.5	5.1	12.7	6.9
販売価格	19.7	24.6	17.8	22.5	24.8	19.1	16.4	24.4	16.4
仕入価格	32.8	39.6	32.5	34.9	40.0	35.3	30.3	39.1	29.2
在庫	0.0	▲ 1.8	▲ 2.5	0.4	0.0	▲ 1.2	▲ 0.5	▲ 4.1	▲ 4.1
資金繰り	0.0	0.8	12.3	▲ 1.2	▲ 0.6	9.7	1.5	2.5	15.3
人手	▲ 23.5	▲ 22.2	▲ 23.0	▲ 28.4	▲ 25.5	▲ 27.8	▲ 17.8	▲ 18.2	▲ 17.5
設備状況	▲ 8.2	▲ 10.1	▲ 10.9	▲ 10.5	▲ 10.6	▲ 12.2	▲ 4.8	▲ 9.5	▲ 8.9

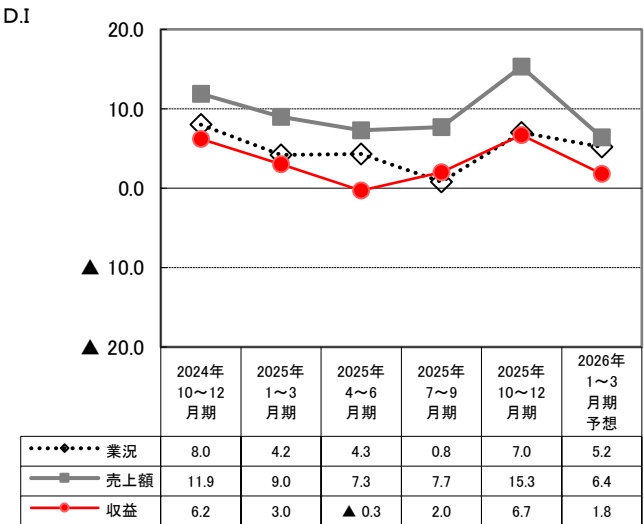
2025年10月～12月期実績

《 全業種で上向く 》
当期の全地域の全業況D.Iは7.0、前期比6.2ポイントプラスと前期を上回りました。
全地域の業種別では全業種において上向きました。

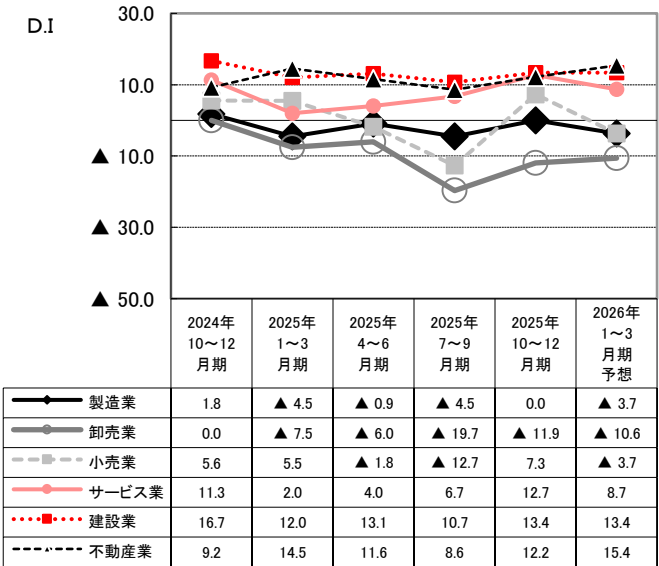
2026年1月～3月期見通し

《 姫路地域では前期を下回り、神戸地域では上回る見通し 》
来期の全地域の全業種予想業況D.Iは5.2、当期比1.8ポイントマイナスと好調感が後退する見通しです。全地域の業種別では、卸売業、不動産業において上向く見通しです。地域別では、姫路地域では前期を下回り、神戸地域では前期を上回る見通しです。

全地域D.I(総合)



業種別業況D.I



調査要領

1. 調査目的

当金庫営業地域内の景気動向を把握し、お取引先の経営者の皆様に景気に関する情報提供をおこない、経営にお役立ていただくことを目的としています。

2. 調査時期

2025年12月上旬

3. 調査対象期間

2025年10月～12月期実績（2025年7月～9月期実績との比較）

2026年1月～3月期予想（2025年10月～12月期実績との比較）

4. 調査方法

調査員による「面接聞き取り調査」

5. 分析方法

本調査はD.I（ディフュージョン・インデックス）による分析

D.Iとは、景気が「良い」、「増加」、「上昇」、「過剰」、「楽」と回答した企業の割合から「悪い」、「減少」、「下降」、「不足」、「苦しい」と回答した企業の割合を差し引いた構成比差から景気の方角を判断する指数です。

6. 調査地域

姫路地域・・・姫路地区（姫路市）

東播地区（加古川市・高砂市・三木市・稲美町）

西播地区（赤穂市・相生市・たつの市・太子町）

北播地区（加西市・福崎町）

神戸地域・・・神戸地区（神戸市・西宮市・尼崎市・宝塚市・伊丹市）

明石地区（明石市・神戸市西区）

※調査地域については、上記地区に所在する当金庫支店を基準とした地域設定であります。

調査先および回答状況

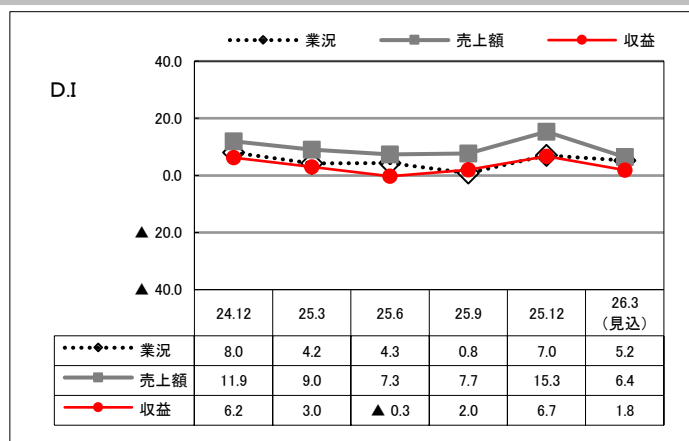
	依頼数	回答数	回答率
製 造 業	112	112	100.0%
卸 売 業	67	67	100.0%
小 売 業	55	55	100.0%
サ ー ビ ス 業	151	151	100.0%
建 設 業	84	83	98.8%
不 動 産 業	131	131	100.0%
合 計	600	599	99.8%

本レポートは、標記時点における情報提供のみを目的としたものであります。したがって投資等や施策実施に関する最終決定はご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、本レポート掲載資料については、当金庫が信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、その情報の正確性および完全性について当金庫が保証するものではありません。

1. 業況

全業種における業況D.Iは7.0、前期比6.2ポイントプラス（前年同期比 ▲1.0）と前期を上回りました。業種別では、全業種において上向きました。

来期予想D.Iは5.2、当期比1.8ポイントマイナスと好調感が後退する見通しです。業種別では、卸売業、不動産業において上向く見通しです。



2. 売上額

全業種における売上額D.Iは15.3、前期比7.6ポイントプラス（前年同期比+3.4）と好調さを強めました。業種別では、小売業以外の業種において上向きました。

来期予想D.Iは6.4、当期比8.9ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。業種別では、全業種において低迷する見通しです。

3. 収益

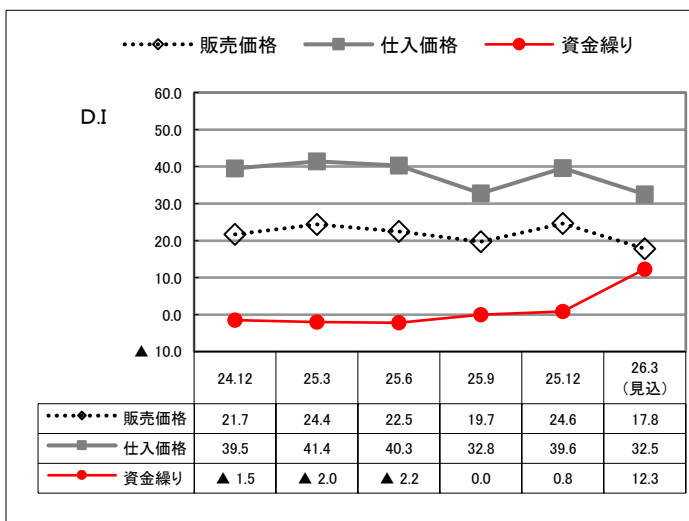
全業種における収益D.Iは6.7、前期比4.7ポイントプラス（前年同期比+0.5）と好調さを強めました。業種別では、サービス業、不動産業以外の業種において改善しました。

来期予想D.Iは1.8、当期比4.9ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。業種別では、不動産業において改善する見通しです。

4. 資金繰り

全業種における資金繰りD.Iは0.8、前期比0.8ポイントプラス（前年同期比+2.3）と容易になりました。業種別では、建設業において厳しさが増しました。

来期予想D.Iは12.3、当期比11.5ポイントプラスとさらに容易になる見通しです。業種別では、卸売業以外の業種において和らぐ見通しです。



5. 販売価格

全業種における販売価格D.Iは24.6、前期比4.9ポイントプラス（前年同期比+2.9）と上昇幅が拡大しました。業種別では、不動産業以外の業種において上昇しました。

来期予想D.Iは17.8、当期比6.8ポイントマイナスと上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、全業種において低下する見通しです。

6. 仕入価格

全業種における仕入価格D.Iは39.6、前期比6.8ポイントプラス（前年同期比+0.1）と上昇幅が拡大しました。業種別では、全業種において上昇しました。

来期予想D.Iは32.5、当期比7.1ポイントマイナスと上昇幅が縮小する見通しです。業種別では、全業種において低下する見通しです。

7. 在庫

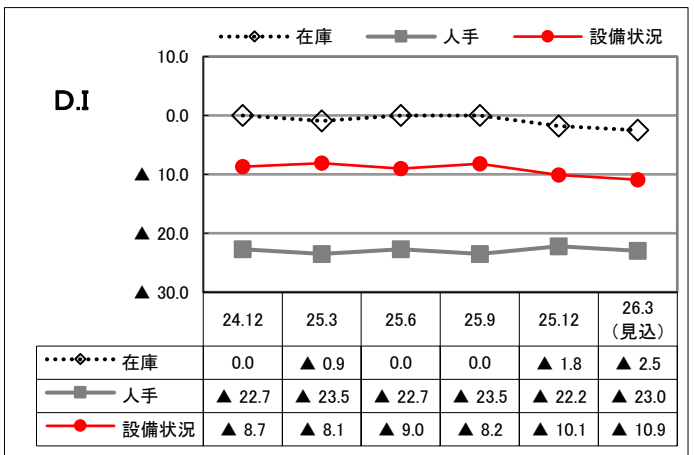
全業種における在庫D.Iは▲1.8、前期比1.8ポイントマイナス（前年同期比 ▲1.8）と適正在庫から品薄へと転じました。業種別では、建設業において緩和しました。

来期予想D.Iは▲2.5、当期比0.7ポイントマイナスと不足感が強まる見通しです。業種別では、製造業、不動産業において緩和する見通しです。

8. 人手

全業種における人手D.Iは▲22.2、前期比1.3ポイントプラス（前年同期比+0.5）と不足感が改善しました。業種別では、卸売業、不動産業以外において不足感が和らぎました。

来期予想D.Iは▲23.0、当期比0.8ポイントマイナスと不足感が強まる見通しです。業種別では、小売業において緩和する見通しです。

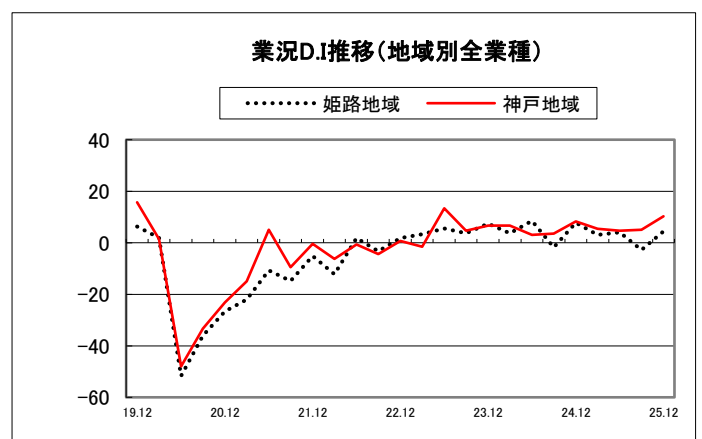
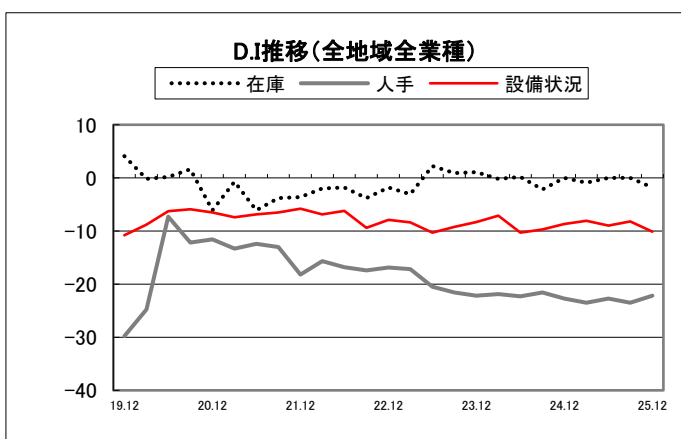
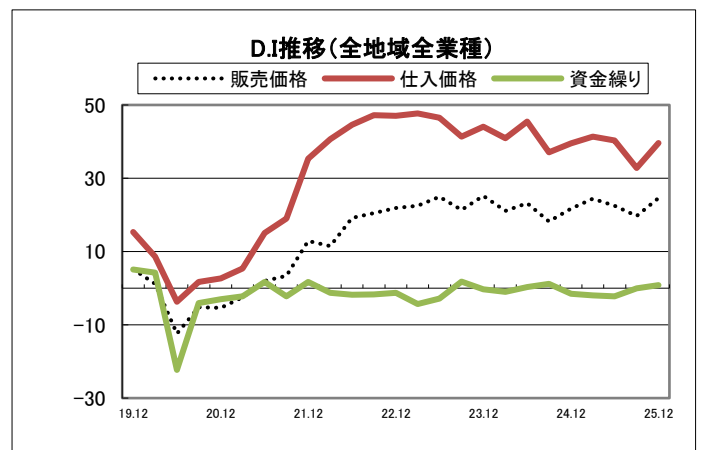
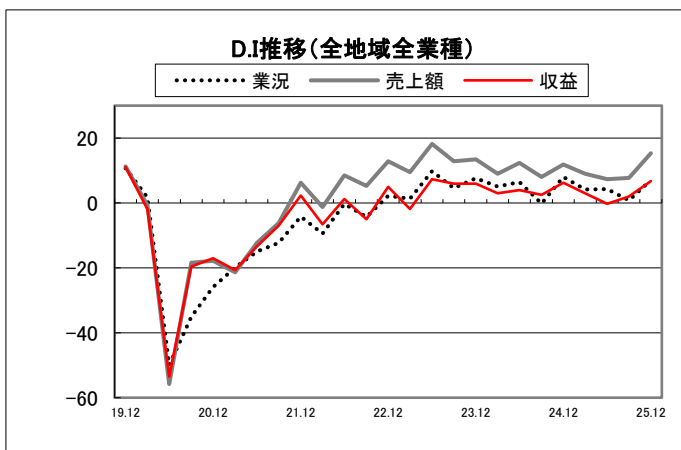


9. 設備状況

全業種における設備状況D.Iは▲10.1、前期比1.9ポイントマイナス（前年同期比 ▲1.4）と低迷しました。また、設備投資を行ったと回答した企業の割合は32.1%、前期比2.1ポイントプラス（前年同期比+2.3）と増加しました。また業種別では、卸売業、小売業において設備投資を行った企業の割合が減少しました。

来期に設備投資を行うと回答した企業の割合は30.8%、当期比▲1.3ポイントマイナスと減少する見通しです。

過去D.I推移



1. 業況

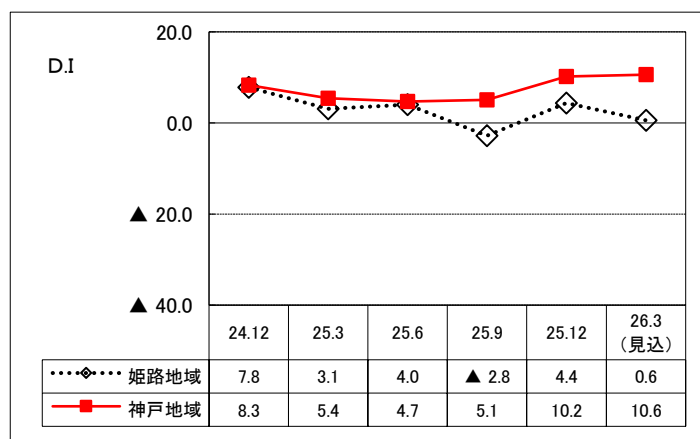
姫路地域の業況D.Iは4.4、前期比7.2ポイントプラス（前年同期比 ▲3.4）と改善しました。

来期予想D.Iは0.6、当期比3.8ポイントマイナスと好調感が後退する見通しです。

神戸地域の業況D.Iは10.2、前期比5.1ポイントプラス（前年同期比+1.9）と前期を上回りました。

来期予想D.Iは10.6、当期比0.4ポイントプラスとさらに回復に向かう見通しです。

当期の地域別業況は、両地域とも上向きました。



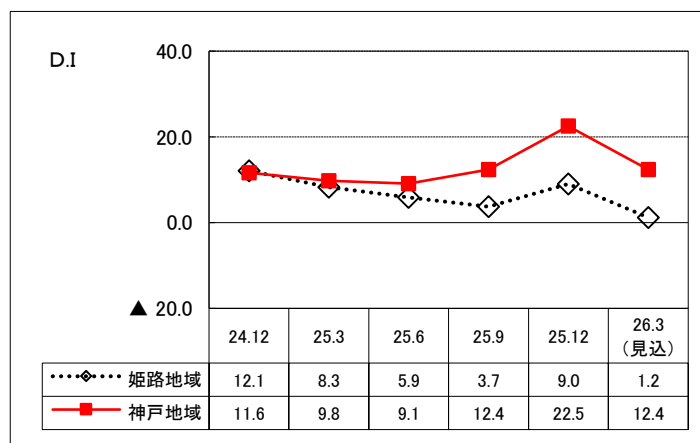
2. 売上額

姫路地域の売上額D.Iは9.0、前期比5.3ポイントプラス（前年同期比 ▲3.1）と好調さを強めました。

来期予想D.Iは1.2、当期比7.8ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。

神戸地域の売上額D.Iは22.5、前期比10.1ポイントプラス（前年同期比+10.9）と好調さを強めました。

来期予想D.Iは12.4、当期比10.1ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。



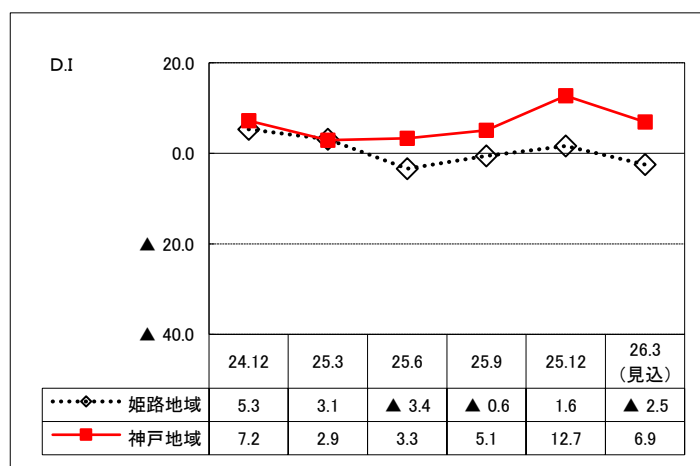
3. 収益

姫路地域の収益D.Iは1.6、前期比2.2ポイントプラス（前年同期比 ▲3.7）と好転しました。

来期予想D.Iは▲2.5、当期比4.1ポイントマイナスと水面下に落ち込む見通しです。

神戸地域の収益D.Iは12.7、前期比7.6ポイントプラス（前年同期比+5.5）と好調さを強めました。

来期予想D.Iは6.9、当期比5.8ポイントマイナスと増加幅が縮小する見通しです。

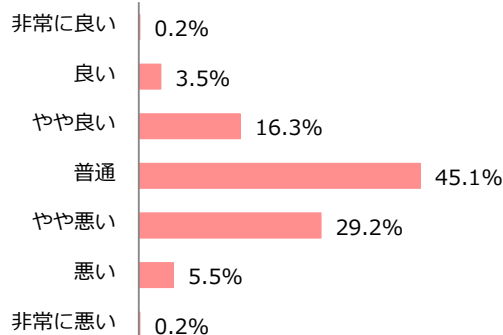


2026年（令和8年）の経営見通し

回答により合計が100%とならない場合があります。

問1

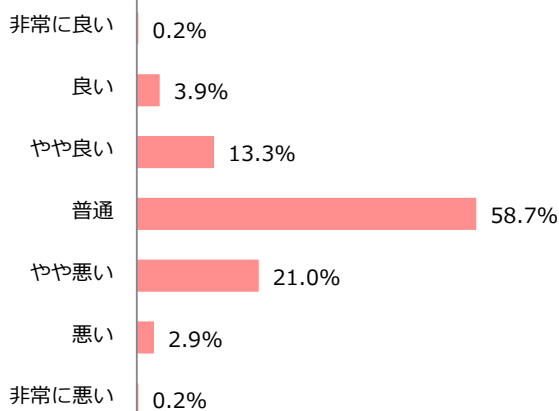
貴社では、2026年の日本の景気をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。



2026年の日本の景気の見通しについて「普通」が最多回答、次いで「やや悪い」という結果でした。

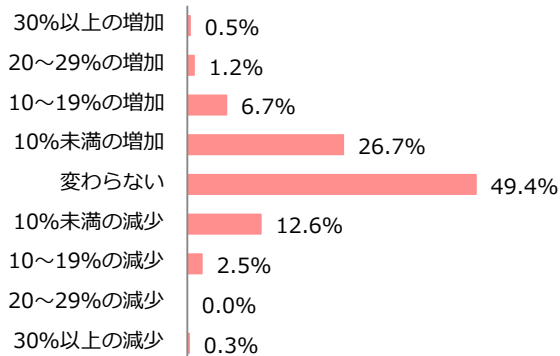
問2

貴社では、2026年の自社の業況（景気）をどのように見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。



2026年の自社の業況（景気）の見通しについて「普通」が最多回答、次いで「やや悪い」という結果でした。

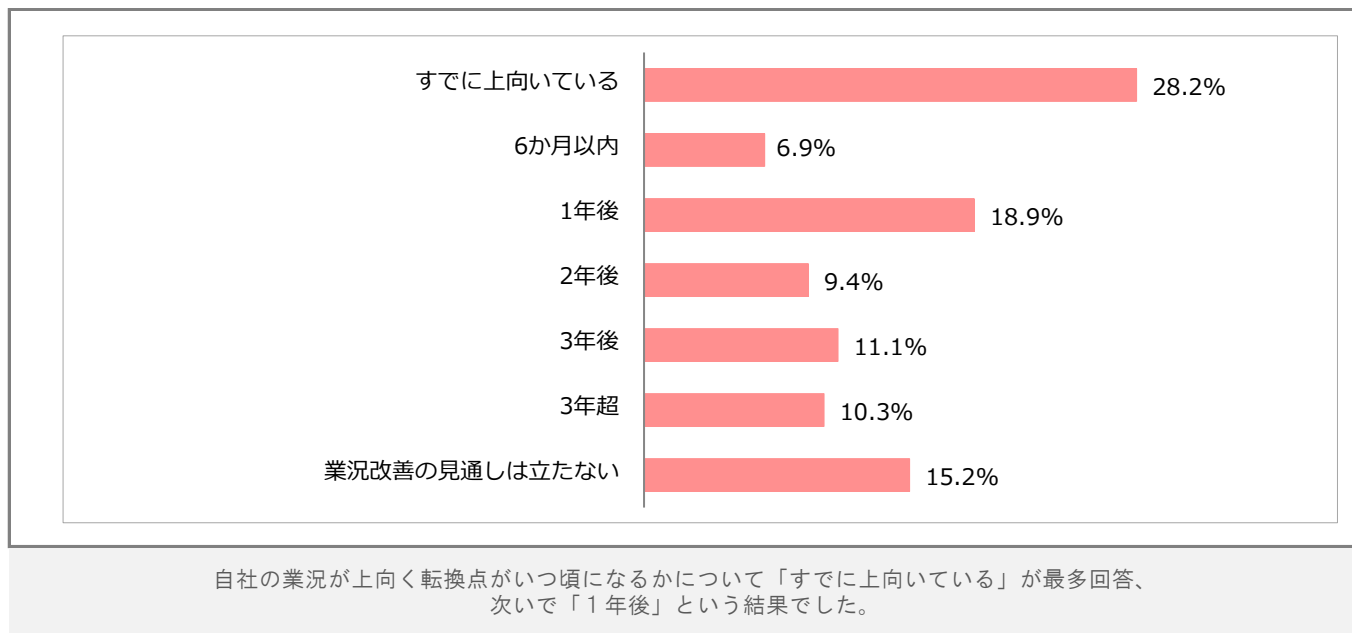
問3 2026年において貴社の売上額の伸び率は、2025年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。



2026年の貴社の売上額の伸び率は、2025年に比べて「変わらない」が最多回答、次いで「10%未満の増加」という結果でした。

問4

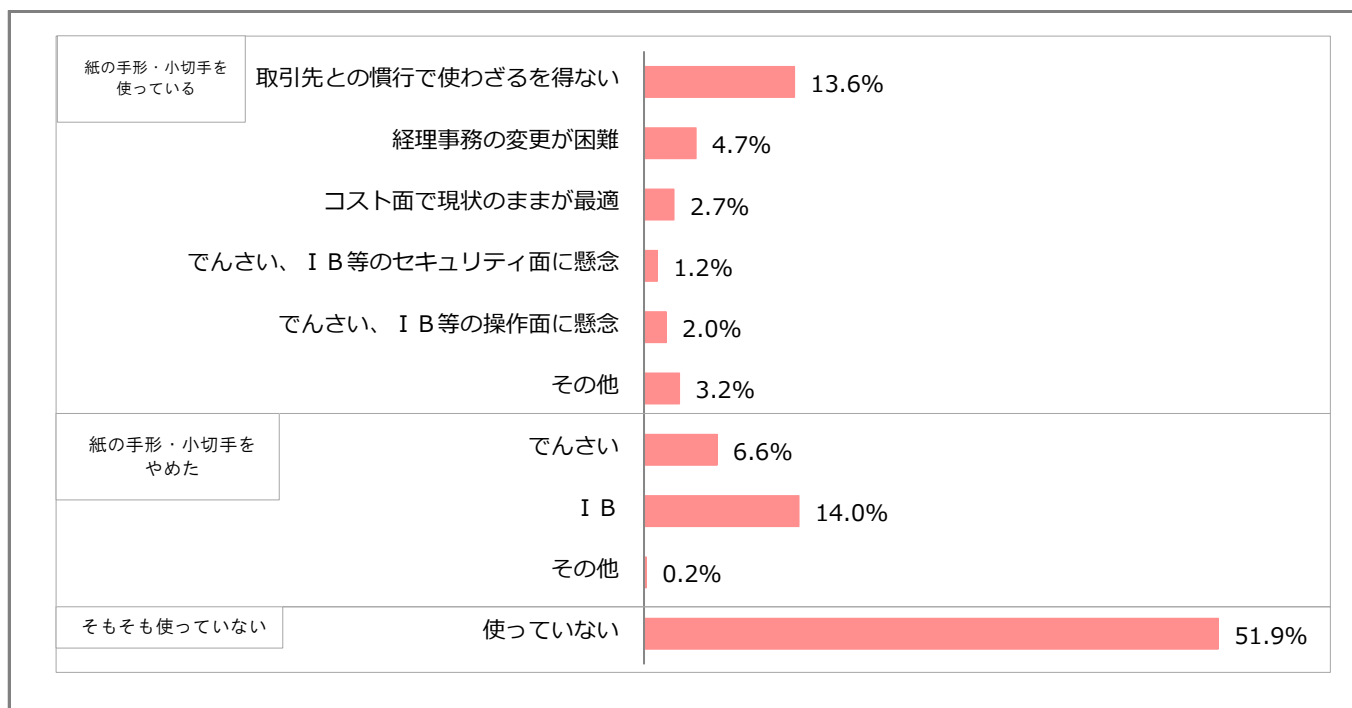
貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。次の中から1つ選んでお答えください。



問5

紙の手形・小切手の利用状況についてお伺いします。政府は、2027年3月末までに約束手形の利用廃止、小切手の全面的な電子化の方針を示しています。貴社では、現時点で、企業間の資金決済の手段として、紙の手形・小切手を使っていますか。使っている場合はその理由を1～6から、もともと使っていたがやめた場合は現在の主な資金決済手段を7～9から、そもそも手形・小切手自体を使っていない場合は0から、最もあてはまるものを1つだけ選んでお答えください。

※選択肢上の「I B」はインターネットバンキングを指すものとします。



紙の手形・小切手の利用状況について、「使っていない」が最多回答、次いで「インターネットバンキング」という結果でした。